

# 幡羅中だより 中



第 29 号

令和5年8月30日(木)

高く志を抱き 心豊かに  
たくましく生きる生徒の育成  
心を磨く生徒 本気で学ぶ生徒 体を鍛える生徒  
学校発展の原動力「信頼・責任・協力」を大切にし、  
「文武両道」を実現し、地域と共に歩む学校をめざす



## よき敗者であれ!

頂点を極める個人・団体は、1名もしくは1団体のみです。それ以外は、全てが敗者になります。

1回戦で負けても決勝で負けても、負けは負け、敗者になります。

とかく人は、勝ち負けにこだわりがちですが、近年、敗者の態度がクローズアップされています。

2021年の天皇杯決勝で敗れた大分トリニータの片野坂監督は、「グッドルーザー (good loser: 負けても潔い敗者という意味) でいよう。胸を張って顔を上げて、サポーターに挨拶しよう。この経験を、この場を、この悔しさを次に生かさそう。絶対にこのチームはいいチームだから、俺は自信を持って言う。」と言っています。

昨年の甲子園覇者、仙台育英高校野球部の須江監督は、「人生は敗者復活戦だと思っている。負けたときに人間の価値が出るから、グッドルーザーであれ。負けた時に全力で相手に拍手をしてほしい。」と選手たちに伝えてきました。

決勝戦で敗れましたが、ずっと拍手をしていた部員の姿を見て、「誇りですね。」と讃えていました。

本来、闘う相手は他者ではなく、自分自身であり、成長とは、他者との比較ではなくて、前日までの自分自身なのではないでしょうか。

人として大事なことを示してくれている気がします。

## 唯一無二の自分を生かすために ~命の大切さを考える~

金沢市のある幼稚園で、園児が園長先生に「カブトムシを生き返らせて」、「サワガニのリセットボタンはどこにあるの」といつてきたことがあったそうです。この園児の行動を「小さい子は、かわいいね。」で、かたづけちゃってよいのでしょうか。

ちょっとした間違いや失敗は、何度でもやり直すことができます。繰り返し反復することで克服できたということは、よくあることですが、死んだものを生き返らせる方法は、どこにもありません。そもそも、命にリセットボタンは、ありません。

長崎県教育委員会が行った「児童生徒の『生と死のイメージ』に関する意識調査」では、「死んだ人は生き返る」と答えた子どもの割合は15.4%、兵庫・生と死を考える会の調査では「人は死んでも生き返る」が9.7%、「人は死なない」と答えた子どもの割合は1.8%だったそうです。中学生でも、「人は死なない」と捉えている人がいるというのです。

人生は一度しかありません。永遠の命は存在しません。子どもたちの心理に、こうした考えが働く背景には、テレビやゲームなどの普及・氾濫により、現実と仮想の区別がつかず、倒れたら何度でもリセットボタンを押すことで再生できる、やり直せるといった命を軽視する行為、バーチャルリアリティ (仮想現実) に問題があるといわれています。

ゲームの中では、どんな闘いをしても自分自身が痛むことはありませんが、現実の場面では、殴られれば痛いし、ケガをすれば痛いのです。自分が痛いと感じれば、同じことを相手にしたら、当然、相手も痛いと感じるのです。相手の痛みを知ることは不可欠です。命を軽んずる行為があってはならないのです。あなたの命は、唯一無二の命なのです。

誰にでも、悩みや不安があります。人生には、悩みや不安はつきものです。

しかしながら、私たちはその先に喜びや楽しみがあることを知っています。成就感や達成感満足感が得られることを知っています。前を見て、上を向いて進んでいきましょう。

悩みや不安があったら、一人で悩まずに、あなたの周りの大人に相談してください。  
「たったひとりしかいない自分を、たった一度しかない人生を、ほんとうに生かさなかつたら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか。」 (山本有三『路傍の石』より)



## 9月の行事予定

日	曜	9月行事
1	金	3年第1回実力テスト 1・2年休み明けテスト
2	土	深谷市科学展 (審査会のみ)
3	日	
4	月	ステップアップレッスン(SUL)
5	火	学年朝会(2・3年) SUL
6	水	交通安全指導日 学年朝会(1年) 体育祭予行
7	木	大里地区中学校英語弁論大会
8	金	
9	土	体育祭 (延期: 水曜日課)
10	日	大里地区児童生徒発明創意くふう展
11	月	振替休業日
12	火	プロジェクトMAX SUL
13	水	体育祭予備日
14	木	
15	金	新人地区予選壮行会
16	土	
17	日	関東合唱コンクール (音楽部)
18	月	敬老の日
19	火	SUL
20	水	新人地区予選 (陸上)
21	木	新人地区予選 (陸上) 予備日
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	社会を明るくする運動 (挨拶運動~28日) SUL
26	火	社会を明るくする運動 SUL
27	水	社会を明るくする運動
28	木	新人地区予選中心日 給食なし
29	金	新人地区予選中心日 給食なし 3年深谷市英語検定
30	土	新人地区予選中心日

クラスの仲間と協力し、行事を通して絆を深めよう!

## 未来の深谷、明日の深谷を考える ~子ども議会~

8月4日(金)、市庁舎4階の議場において、子ども議会が開催され、市内の11中学校の代表が集い、「中学生議員」として議会に臨みました。

本校からは、3年生の市川さんが出席し、「自転車利用者の交通安全」について質問と意見を述べました。議員として質問を述べる態度は、とても堂々としており、貫禄がありました。答弁者に正対して、回答を聴く態度も立派でした。よい経験になったと思います。



## 英語で思いを伝える~深谷市・寄居町中学校英語弁論大会~

8月24日に深谷市川本文化会館(川本公民館隣接)で「深谷市・寄居町英語弁論大会」が行われました。本校からは、3年生の大野さんと大塚さんの両名が、出場を果たしました。

両名ともに堂々と発表し、**優良賞**を獲得しました。  
大野 提典 さん(3年)『A Superstar』  
大塚 梨由 さん(3年)『They Call Me Bookworm』  
この経験を生かしていきましょう。お疲れ様でした。



## 暑い中、有難うございました! ~PTA奉仕作業~

8月26日(土)の朝8時より、奉仕作業を行いました。参加していただいたPTA理事の皆さん、生徒・職員の皆さん、大変暑い中、有難うございました。皆さんのお陰により、学校環境が整備され、校地内がとても綺麗になりました。

後片付けを率先して行ってくれる生徒、「お疲れ様です」と大人の挨拶ができる生徒に接し、また1つ、幡羅中生のいいところを見つけることができました。



## 高みを目指して挑戦は続く! ~幡羅中躍進の記録~

夏休みに入り、各種大会・コンクールが、行われました。そうした中、本校の音楽部が、幾つもの賞を獲得しました。第65回埼玉県合唱コンクールでは、金賞と同時に「文団連合会賞」に輝き、2位となりました。来る9月17日に行われる関東大会でも活躍が期待されます。持てる力を遺憾なく発揮し、大舞台へ突き進みましょう!

**第65回埼玉県合唱コンクール 中学校の部 第2位 幡羅中 関東大会出場**  
**TBS子ども音楽コンクール川越大会 優秀賞 幡羅中**  
**第89回NHK全国学校音楽コンクール埼玉県コンクール中学校の部 銀賞 幡羅中**

埼玉県中学校総合体育大会が、7月14日から8月1日にわたり行われました。

本校からは、個人戦で卓球部男子、柔道部男子、男子ソフトテニス部が、団体戦で女子バドミントン部、剣道部女子が、それぞれ出場しました。どの部も善戦しましたが、あと一歩及ばず、惜敗となりました。そうした中、陸上部が入賞を果たしました。

共通男子110mH 15.41 **第7位 山田 太一 さん**  
共通女子走り幅跳び 4m86 **第8位 岩田 香凛 さん**  
女子4x100mR 51.28 **第8位 幡羅中**

(宮本 さん、五十嵐 さん、岩田 さん、柴崎 さん)

さらなる高みを目指して、果敢に挑戦していきましょう!



感染症及び、猛暑の影響により、「体育祭」は、半日での開催とし、各家庭2名までとさせていただきます。御不便をおかけいたしますが、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## 家庭の「安心ふっかネット」(深谷市PTA連合会提言)

お子様をネットトラブル等から守るために、御家庭の御理解と御協力をお願いいたします。

